

予 算 要 求 資 料

令和7年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 看護師等養成所教育環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内3233)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 2,310 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	2,310	0	0	0	0	0	0	2,000	310
決定額	2,310	0	0	0	0	0	0	2,000	310

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

多治見看護専門学校のトイレは、和式トイレが未だ残っており、床も土足のため衛生面に不安がある状態が続いている。全学年が揃って授業が行われる日の休憩時間や昼休みには慢性的な混雑があり、学生のアンケートでは常にトイレに関する苦情や要望が多い。

(2) 事業内容

ユニバーサルデザインを施した内装に改修し、現在残る和式4基を洋式(洋式化100%)にするとともに、学生数及び教員等職員の人数に比してトイレが不足しているため増基を行いたい。(R7は実施設計)

[補正理由]

学習環境整備において、ユニバーサルデザイン化及び慢性的混雑の解消は急務であるため。

学生アンケートや外部評価において、常にトイレに関する苦情や要望が多い。特に和式トイレには、若い世代に「古い」「不便」「清潔感に欠ける」というイメージが強く、当校に対するイメージ悪化が懸念されており、受験者数の減少が顕著な現状において、「優秀な学生の確保」という面からも、これ以上放置できない状況にある。

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県費負担が適当である。

(4) 類似事業の有無

有 令和5年度 看護師等養成所教育環境整備事業費

(下呂看護専門学校給水管・トイレ改修工事)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,310	トイレの洋式化及び増基、フローリング化等の実施設計
合計	2,310	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

本事業は令和6年8月、管財課より「ユニバーサルデザイン化事業として適当」と認められており、保全計画に位置づけられる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ユニバーサルデザインを施した内装に改修し、現在残る和式すべてを洋式化し、増基を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

営繕工事等が必要な状況となった場合に事業実施するため指標は設定しない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・R4年度は、下呂看護専門学校において、給水管及びトイレ改修工事、機械棟外壁等改修工事及び階段補修工事の実施設計を実施。 ・これにより、学生及び来校者等の安全確保が図られる。
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和5年度	・R5年度は、下呂看護専門学校において、給水管及びトイレ改修工事、機械棟外壁等改修工事及び階段補修工事を実施。 ・これにより、学生及び来校者等の安全確保が図られる。
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和6年度	令和8年度当初予算にて追加
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	和式トイレが未だ残っており、床も土足で衛生面に不安があるため、学生や外部からも改修の要望等が極めて多いものであり、対応が急務である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	学生等から引き続き和式トイレを改修してほしいとの意見があり、洋式化は学生等の意向に沿うものとの実証が得られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	現在の基数では混雑が発生しているため、完全洋式化及び増基によって、効率的に慢性的な混雑緩和が果たされると見込まれる。また、受験者数の増加等による優秀な学生の確保にも効果的と見込まれる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 トイレのみならず、昭和49年に建築された建物であるため、施設や設備が老朽化しており、「良好な学習環境の整備」「優秀な学生の確保」という観点からも、今後も修繕や改修が必要とされている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実施設計に引き続き、トイレの改修を行う。さらに、学生や外部講師等の意見を取り入れ、ソフト・ハード両面からの教育環境の整備を計画的に進めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	